

# 新5ヵ年計画

# 経営マテリアリティ

事業や戦略を「経営マテリアリティ」を通して再評価することで  
 企業活動によって創出する社会的価値を最大化し、  
 社会にとって不可欠な企業・事業への成長を目指します。

価値創造プロセスに **経営マテリアリティ** を取り入れることで期待する好循環

これまでの  
 価値創造プロセス

Strategy  
 中期経営計画

## 社会変化・社会課題

- 人口・世帯動向
- 労働力
- 住宅
- 消費者意識・ライフスタイル
- 法規制・政策
- 環境

「大東建託グループを  
 取り巻くリスクと機会」

▶▶ p.25-26

## 新5ヵ年計画

- コア事業(賃貸住宅事業)の深化と、社会変化を味方に付けた事業展開による、ストックシェアの拡大
- 賃貸経営支援、賃貸住宅事業で蓄積した建物賃貸事業のノウハウを、非住宅系事業分野で活用
- 既存サービスの提供範囲拡大と、新規生活支援サービスの開発・提供
- 新5ヵ年計画達成を支える基盤と、当社グループとかがかわる全ての方が当社との関係性を誇れるブランドの構築

Input

## 経営マテリアリティによる創出価値の最大化

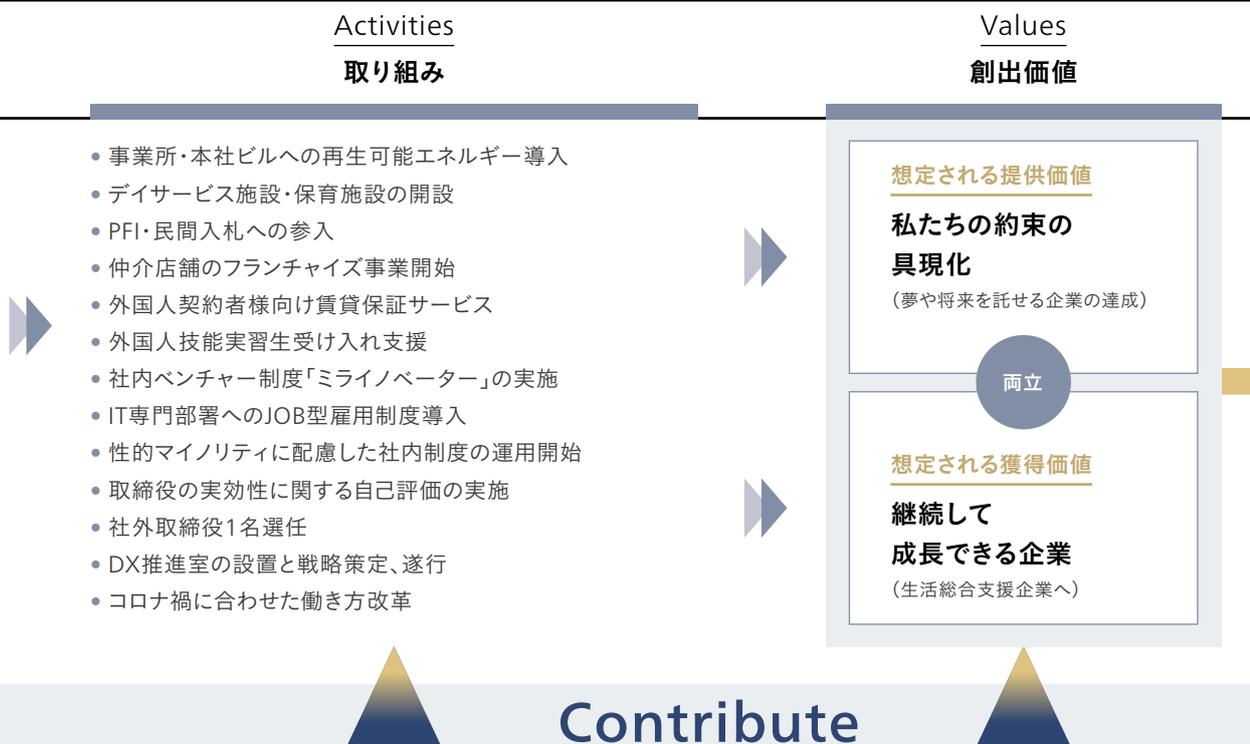
### ■ 大東建託グループ経営マテリアリティ

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1. 環境          | 事業活動による気候危機への対応       |
| 2. 社会          | 誰ひとり取り残さない社会への貢献      |
| 3. 人材・組織       | 誰もが成長しチャレンジできる企業風土の構築 |
| 4. 企業統治(ガバナンス) | 業界を牽引するガバナンス体制の構築     |

Contribute

## 2021年度 経営マテリアリティ指標設定の方向性

非財務活動の定量化、および非財務活動の財務換算などを通して、「業績向上と外部要求への対応」の両立状況がモニタリング・評価できる指標の設定を目指します。



## 経営マテリアリティの役割は「社会的価値の最大化」

### 経営マテリアリティ構築の背景

経営マテリアリティ(環境、社会、人材・組織、企業統治(ガバナンス))は、当社グループの持続的成長のために、不可欠な課題の選出・評価にとどまらず、環境・社会・経済の持続のために、企業、そして当社グループが果たすべき使命(社会からの要求)を大きく取り入れた構成となっています。これは「夢や将来を託せる企業」を目指す当社グループが、「サステナビリティを経営の軸に置き、社会課題や社会からの要求に事業で応えていく」という決意の表れです。

### 経営マテリアリティに期待すること

従来より継続してきた事業や新5ヵ年計画を、経営マテリアリティを通して再評価することで、企業活動によって創出する社会的価値を最大化し、当社グループの事業を社会にとってより不可欠な事業へと成長させていきます。

# 新5ヵ年計画

# 事業マテリアリティ

事業マテリアリティを通して、既存の事業やリソースの活用を促し、社会へ提供する価値や事業領域の拡大を進めることで事業の進化と深化、拡大を目指します。

価値創造プロセスに **事業マテリアリティ** を取り入れることで期待する好循環

これまでの  
価値創造プロセス

Strategy  
中期経営計画

## 社会変化・社会課題

- 人口・世帯動向
- 労働力
- 住宅
- 消費者意識・ライフスタイル
- 法規制・政策
- 環境

「大東建託グループを取り巻くリスクと機会」

▶▶ p.25-26

## 新5ヵ年計画

- コア事業(賃貸住宅事業)の深化と、社会変化を味方に付けた事業展開による、ストックシェアの拡大
- 賃貸経営支援、賃貸住宅事業で蓄積した建物賃貸事業のノウハウを、非住宅系事業分野で活用
- 既存サービスの提供範囲拡大と、新規生活支援サービスの開発・提供
- 新5ヵ年計画達成を支える基盤と、当社グループとかがわる全ての方が当社との関係性を誇れるブランドの構築

Input

## 事業マテリアリティによる創出価値の最大化

### ■ 大東建託グループ事業マテリアリティ

5. 土地・資産

土地と資産の最有効利用支援

6. 賃貸住宅

資産価値向上と社会課題解決の両立

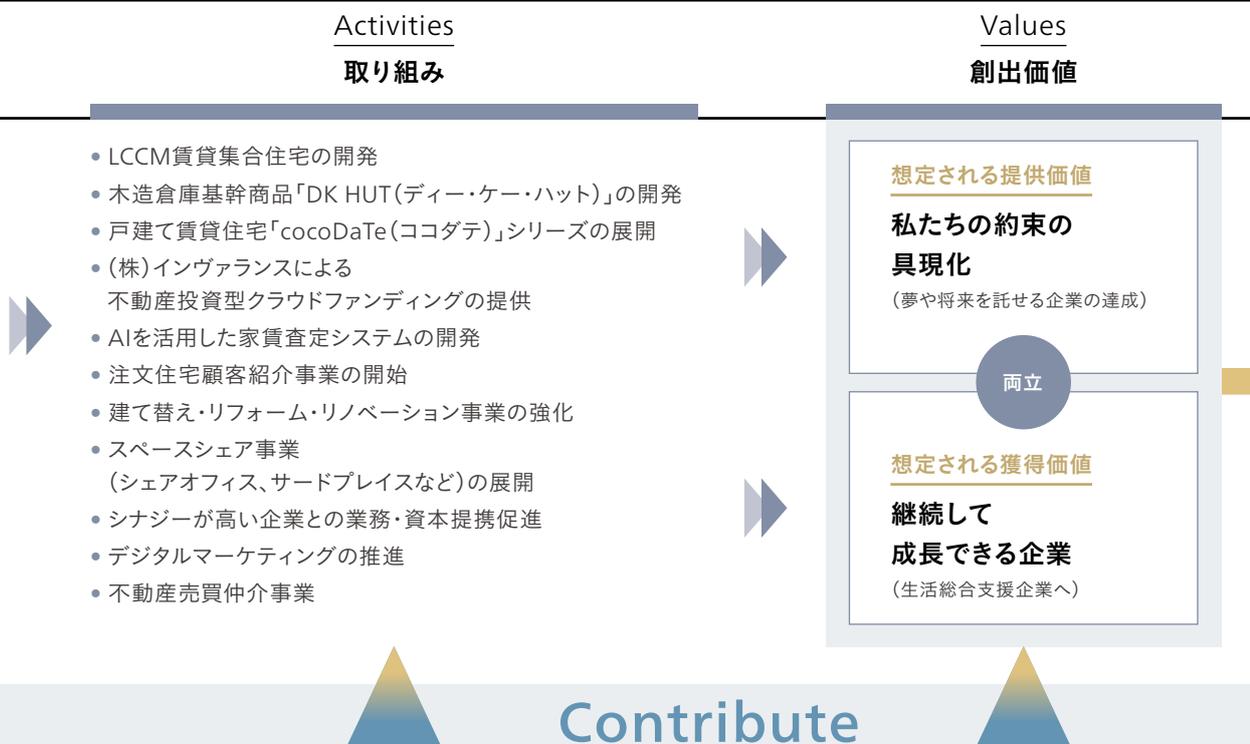
7. 暮らし・生活

街の利便性向上と人の暮らしやすさの向上

Contribute

## 2021年度 事業マテリアリティ指標設定の方向性

関連事業・施策の規模や、財務的インパクトを経年でモニタリングできる指標の設定により、マテリアリティの管理・監督にとどまらず、当社グループの成長評価に資する指標の設定を目指します。



## Contribute

### 事業マテリアリティの役割は「事業の進化・深化と拡大」

#### 事業マテリアリティ構築の背景

事業マテリアリティ(土地・資産、賃貸住宅、暮らし・生活)は、オーナー様、入居者様をはじめとするステークホルダーが抱える課題や、社会変化・社会課題に対し、大東建託グループだからこそ提供すべきソリューションを大きく取り入れた構成になっています。これは、サステナビリティ基本方針における「ステークホルダーのみならずと共に、事業活動の発展と持続可能な社会の実現を目指す」を体現するために、当社グループが推進すべき企業活動の方向性を示しています。

#### 事業マテリアリティに期待すること

事業マテリアリティを通して、事業やリソースの活用を促し、社会へ提供する価値や事業領域の拡大を進めることで、生活総合支援企業へ向けた事業の進化と深化、拡大を目指します。